

科目区分	専門分野 I			科目番号	0608	曜日時間	不定期
授業科目	基礎看護技術V						
単位数	1 単位	時間	30 時間	開講時期	1年次後期	授業形態	講義・演習
担当教員							
授業目的	健康上の問題をもつ対象への必要な援助を判断し、状況に応じた援助を実践する方法を学ぶ。						
中 核	状況に応じた看護技術						
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対象が生活する療養の場を理解する。</li> <li>2. 生活の調整が必要な部分をとらえ、科学的根拠に基づいた援助を考える。</li> <li>3. 援助するまでの思考過程の中で、「対象に応じた」の意味を探求する。</li> <li>4. 対象に応じた意図的コミュニケーション技術を活用できる。</li> <li>5. 臨床の場面を想起した看護技術を活用できる。</li> <li>6. 状況に応じて、既習した知識や看護技術を判断し、援助できる。</li> </ol>						
授業の内容と方法	回	授業内容	授業方法	時間	担当		
	15	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床看護における対象者の理解 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 臨床という場の理解</li> <li>2) 患者・家族の理解</li> </ol> </li> <li>2. 健康障害の経過からみた看護 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 健康障害のレベルとしての「経過」</li> </ol> </li> <li>3. 対象に応じた意図的コミュニケーション</li> <li>4. 対象に応じた看護技術 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 足浴</li> <li>2) 摘便</li> </ol> </li> <li>4. OSCE <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 患者の状況に応じた援助技術の実施</li> </ol> </li> <li>5. 対象にとっての最善の援助技術とは</li> </ol>	 講義  GW  学内 実習	30		講義終了後、リフレクションノート提出	
終了後課題	リフレクションシート						
評価計画方法	筆記試験50%，リフレクションノート及びレポート10%，OSCE（技術試験）40%						
テキスト 参考図書	茂野香おる著：系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学〔2〕基礎看護技術 I 第17版，医学書院 任 和子著：系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学〔3〕基礎看護技術 I 第17版，医学書院						
実務歴有							
講義への反映							
備 考	準備：ポートフォリオ用ファイル、リフレクションノート						